

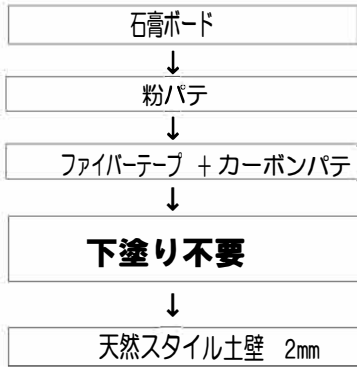
施工要領

石膏ボード発仕上げ

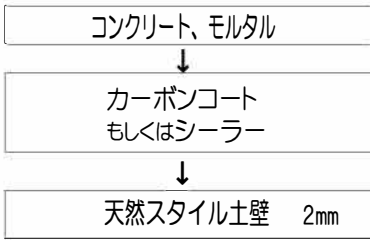
天然スタイル土壁

※日本エムテクス製品専用の下地作りのマニュアルがございます。
必ずそのマニュアルに従い下地を作ってください。

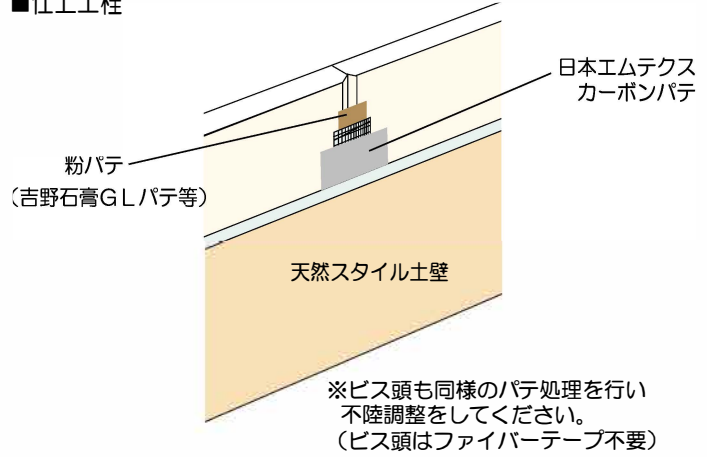
●石膏ボード下地の場合



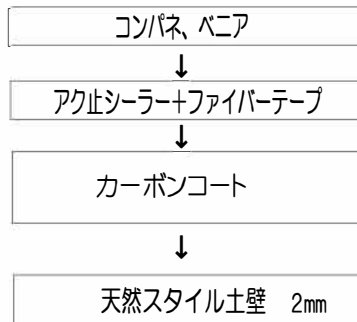
●コンクリート、モルタル下地の場合



■仕上工程



●コンパネ、ベニア下地の場合



●ALC板下地の場合



■塗り厚

1袋 : 10kg

塗り厚	1袋あたり塗り面積
2mm	約 8㎡

■練り方

- 練樽に本体10KGと別袋の色粉を1:1で混入し、2分間空練りします。(白土には色粉は不要です。)
- さらにトータルで5.5Lになるよう少しずつ水を加えながら10分間程度攪拌します。

※十分に混練りする手間を省いたり、色粉の袋をきれいに使いきらないと、色ムラ等が発生する場合がございます。

■塗り方

- ※施工前に日本エムテクス製品共通下地の作り方が遵守されているか確認してください。
- パテ部が完全に乾燥していることを確認し作業を行ってください。
 - 面の不陸やパテ部分の不陸を確認し、必要に応じてペーパー処理を行って調整してください。
 - 十分に混練りしたものを2mm程度で塗りつけます。
 - 表面が完全に水引きする前に各種パターンつけを行ってください。
KOTENAMI コテ波を残しながら塗り放して仕上げます。
OCEAN 材料を塗りつけたあと、コテで波のようなパターンをつけてください。
CLOUD 材料を塗りつけたあと、コテで引き摺り雲のようにパターン付けをします。
WARA 別途送付されたワラスパックを材料に混ぜて仕上げます。

※パテを平滑に塗るため、コテでなく、パテベラで施工してください。
※パテはやせの少ないものを使用してください。漆喰系のパテは使わないで下さい。
※出隅・入隅処理については別紙の通り施工してください。
※「土壁」は乾燥が早めですので、速やかに仕上げを行ってください。(特に夏場は乾燥が早い)
※パテ部と石膏ボードの水引きの違いから、コテ波を完全に消すことはできません。

- ※粉パテはやせの少ないものを使用してください。
- ※仕上げパテは日本エムテクス製カーボンパテを使用し、不陸をなくすよう処理してください。(下パテにはカーボンパテではなく、やせの少ないものを使用してください。)
- ※ファイバーテープ、パテ、下塗りは各メーカーの指示に従い、施工してください。
- ※コンパネやベニアと石膏ボードなど異なる下地が混在する面には、水引きを統一するため全面にシーラー処理を行ってください。
- ※耐力壁下地の場合必ずアク止め処理をしてください。

※下地処理の注意事項

下地の表面の不純物を除去し、表面の清掃を行い、表面に露出している鉄筋、ボルト、ビス、釘等の金属には防サビ処理を行ってください。また、下地の不陸がないか、ジョイント部の受け材等が正確に継ぎ目に位置しているか確認し、施工を行う前に平滑な下地処理をしてください。

※ご不明な点は当社までご相談下さい。

注意事項

■施工上の注意

- ※色むら、色粉の糸引きが発生しない様十分に混練りしてください。
- ※他の材料と混合しない様にしてください。
- ※天然原料を使用していますので、多少の色のはらつきがでることがありますので、同ロットの物を使用してください。
- ※施工後、急激な乾燥は避けてください。
- ※施工後24時間以内に気温が5度以下になる場合は施工を避けてください。
- ※特注色を施工する場合全面にシーラーを塗布してください。
- ※塗装用のパテ (ビス専用のパテ等) は使用しないでください。

正式名称：天然スタイル土壁

不燃認定番号：NM-8574

製造元 日本エムテクス株式会社

■お客様への注意

- ※製品は防湿袋になっていますが、湿度の高い場所、また外部での保存は避けてください。
- ※本品は食べ物ではありません。口や目や鼻などに入らないようご注意ください。
- ※本製品には有害物質は含まれていませんが、万一皮膚へ付着したり、目や鼻や口に入った場合、速やかに洗い流し、専門医の指示に従い、処置をしてください。

